



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 ワイエイシーホールディングス株式会社

コード番号 6298 URL <https://www.yac.co.jp>

代表者 （役職名） 代表取締役会長兼社長 （氏名） 百瀬 武文

問合せ先責任者 （役職名） 取締役管理統括本部長 （氏名） 畠山 督 TEL 042-546-1161

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無： 有

決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	6,021	28.2	△52	—	△201	—	△311	—
2026年3月期第1四半期	4,697	△13.5	△321	—	△403	—	△405	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 △236百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △577百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△17.68	—
2026年3月期第1四半期	△22.02	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	44,622	16,118	36.0
2026年3月期	43,793	16,976	38.7

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 16,074百万円 2026年3月期 16,933百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		22.00	—	23.00	45.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	35,000	32.3	3,300	150.0	3,000	145.6	2,000	50.8	113.88

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	19,517,894株	2026年3月期	19,517,894株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,968,293株	2026年3月期	1,765,708株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	17,598,518株	2026年3月期1Q	18,418,286株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）における世界経済は、米国を中心に底堅く推移したものの、中東情勢の緊迫化によるエネルギー価格の上昇や物流への影響が生じました。日本経済は設備投資やインバウンド需要を背景に回復基調で推移し、アジア地域においても中国およびアセアン諸国を中心に景気持ち直しの動きがみられました。

このような状況のもと、当社グループを取り巻く事業環境においては、世界的なデータセンター投資の拡大やAI関連需要の高まりを背景に、半導体・電子部品関連の設備需要が堅調に推移しました。一方で、エネルギー価格や原材料価格の上昇などの影響がみられました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高60億21百万円（前年同四半期比28.2%増）、営業損失52百万円（前年同四半期営業損失3億21百万円）、経常損失2億1百万円（前年同四半期経常損失4億3百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失3億11百万円（前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純損失4億5百万円）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

（半導体・メカトロニクス関連事業）

当セグメントでは、テーピング装置およびキャリアテープ、純水加温装置の売上が堅調に推移したものの、セグメント利益は前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は24億92百万円（前年同四半期比14.7%増）、セグメント利益は2億4百万円（同15.9%減）となりました。

（医療・ヘルスケア関連事業）

当セグメントでは、人工透析装置の主要部品の納期遅延に伴う生産量の減少により、売上高は前年同四半期を下回りました。また、製品開発の遅れに伴う負担が利益を圧迫したことから、セグメント利益は前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は11億43百万円（前年同四半期比6.6%減）、セグメント損失は41百万円（前年同四半期セグメント利益9百万円）となりました。

（環境・社会インフラ関連事業）

当セグメントでは、制御通信機器やアニール装置の売上が増加しました。

この結果、売上高は23億84百万円（前年同四半期比83.5%増）、セグメント利益は13百万円（前年同四半期セグメント損失3億60百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は446億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億28百万円増加しました。その内訳は、流動資産が303億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億52百万円の増加となりました。主な増加要因は現金及び預金20億33百万円、原材料及び貯蔵品2億99百万円の増加であり、主な減少要因は受取手形及び売掛金15億94百万円の減少であります。固定資産は142億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円の増加となりました。主な増加要因は投資有価証券97百万円の増加であります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債は285億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億87百万円増加しました。その内訳は、流動負債が171億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億49百万円の増加となりました。主な増加要因は短期借入金7億71百万円、支払手形及び買掛金4億59百万円、賞与引当金1億85百万円の増加であります。固定負債は113億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億37百万円の増加となりました。主な増加要因は長期借入金1億77百万円の増加であります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は161億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億58百万円減少しました。その結果、自己資本比率は36.0%（前連結会計年度末は38.7%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績（通期）及び配当金につきましては、2026年5月13日に公表しました予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,746	10,780
受取手形及び売掛金	8,081	6,486
電子記録債権	671	380
商品及び製品	1,499	1,577
仕掛品	7,606	7,628
原材料及び貯蔵品	2,338	2,638
その他	756	958
貸倒引当金	△90	△87
流動資産合計	29,609	30,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,942	6,037
減価償却累計額	△4,125	△4,156
建物及び構築物（純額）	1,816	1,881
機械装置及び運搬具	3,083	3,111
減価償却累計額	△2,504	△2,546
機械装置及び運搬具（純額）	579	564
工具、器具及び備品	4,592	4,721
減価償却累計額	△4,135	△4,174
工具、器具及び備品（純額）	456	547
土地	5,667	5,667
リース資産	438	438
減価償却累計額	△284	△293
リース資産（純額）	154	145
建設仮勘定	210	172
有形固定資産合計	8,884	8,979
無形固定資産		
のれん	612	579
ソフトウェア	118	112
リース資産	87	84
その他	197	179
無形固定資産合計	1,016	955
投資その他の資産		
投資有価証券	3,007	3,105
長期貸付金	2	2
繰延税金資産	623	600
長期滞留債権等	249	249
その他	671	639
貸倒引当金	△271	△271
投資その他の資産合計	4,283	4,325
固定資産合計	14,184	14,260
資産合計	43,793	44,622

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,108	2,568
電子記録債務	1,109	1,053
短期借入金	7,179	7,950
1年内返済予定の長期借入金	2,904	3,003
リース債務	76	70
未払法人税等	330	118
賞与引当金	539	725
製品保証引当金	65	71
未払費用	309	332
前受金	490	534
その他	528	765
流動負債合計	15,643	17,192
固定負債		
社債	2,100	2,100
長期借入金	6,576	6,753
リース債務	179	173
繰延税金負債	655	661
退職給付に係る負債	1,509	1,465
その他	152	156
固定負債合計	11,173	11,311
負債合計	26,816	28,504
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,801	2,801
資本剰余金	1,980	1,980
利益剰余金	12,697	11,999
自己株式	△1,211	△1,447
株主資本合計	16,267	15,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	239	307
為替換算調整勘定	417	425
退職給付に係る調整累計額	8	7
その他の包括利益累計額合計	665	740
新株予約権	37	37
非支配株主持分	5	5
純資産合計	16,976	16,118
負債純資産合計	43,793	44,622

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,697	6,021
売上原価	3,673	4,507
売上総利益	1,023	1,513
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	537	605
賞与引当金繰入額	59	68
福利厚生費	21	21
賃借料	61	89
業務委託費	33	39
研究開発費	105	77
減価償却費	70	74
その他	455	589
販売費及び一般管理費合計	1,344	1,566
営業損失(△)	△321	△52
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	1	2
受取賃貸料	3	2
補助金収入	0	1
受取補償金	—	7
その他	4	10
営業外収益合計	12	24
営業外費用		
支払利息	47	67
為替差損	38	71
投資有価証券売却損	—	0
持分法による投資損失	0	5
支払手数料等	7	28
営業外費用合計	94	173
経常損失(△)	△403	△201
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
事務所移転費用	—	20
システム障害対応費用	—	15
特別損失合計	0	36
税金等調整前四半期純損失(△)	△404	△237
法人税、住民税及び事業税	108	85
法人税等調整額	△110	△11
法人税等合計	△2	73
四半期純損失(△)	△401	△311
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△405	△311

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△401	△311
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△51	67
為替換算調整勘定	△123	7
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	△175	74
四半期包括利益	△577	△236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△581	△236
非支配株主に係る四半期包括利益	4	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった株式会社GDテックは、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について連結上必要な調整を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。

この決算期変更により、当第1四半期連結会計期間は、2026年4月1日から2026年6月30日までの3か月間を連結しております。

なお、当該連結子会社の2026年1月1日から2026年3月31日までの損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	165百万円	167百万円
のれんの償却額	21百万円	33百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体・メカトロニクス関連	医療・ヘルスケア関連	環境・社会インフラ関連			
売上高						
外部顧客への売上高	2,172	1,225	1,299	4,697	—	4,697
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	5	11	19	△19	—
計	2,175	1,230	1,310	4,716	△19	4,697
セグメント利益又は損失(△)	243	9	△360	△107	△213	△321

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△213百万円は、各報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体・メカトロニクス関連	医療・ヘルスケア関連	環境・社会インフラ関連			
売上高						
外部顧客への売上高	2,492	1,143	2,384	6,021	—	6,021
セグメント間の内部売上高又は振替高	94	0	24	119	△119	—
計	2,587	1,143	2,409	6,140	△119	6,021
セグメント利益又は損失（△）	204	△41	13	176	△228	△52

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△228百万円は、各報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。